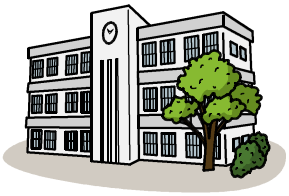
素直で礼儀正しい子（徳）たくましく学び合う子（知）明るく元気な子（体）



学校だより

雪小っ子

NO. 61

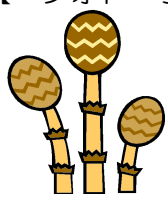
西海市立雪浦小学校　　校長　浅田　眞理　　平成２９年　３月　２日　発行

西海子どもふるさと文集「美しい日本語」

７～８年前のことでしょうか，長崎新聞で，脳トレで有名な川島隆太さんが，「俳句づくりは脳を活性化する。脳トレよりも効果がある。」と言っている記事を目にしました。
また，現在よくテレビで目にする脳科学者：茂木健一郎さんも，自分の著書『俳句脳』の中で「俳句を作ることによって，おおらかな生命に近づくことができ，内なる感性を磨くことができる。」と言っています。
さらに，俳句的思考の特徴として，「小さなものへの慈しみ」「ふとした瞬間の気持ちを的確に捉えること」は，日本独特の方法であるとも述べています。

上記は，今年度学校だよりＮｏ５の冒頭の文章ですが，本校が俳句創作活動に取り組むのは，感性豊かな子どもの育成，表現力・言語能力の向上，優しさの育成等が理由にあります。これは，西海市がこれまで行ってきた『美しい日本語』事業の取組と目指すところは同じです。
ところで，このたび，名称はやや変わりましたが，西海子どもふるさと文集『美しい日本語』が完成し，昨日お配りさせていただきました。すでに中を見られた方も多いかと思いますが，今年度も本校の子供たちは頑張りを見せました。下記にその結果を御紹介します。

【　詩の部　】	入　選	５年　坪川　悠翔	５年　中沼　海人	６年　浦里　知愛	
【　俳句・短歌・川柳の部　】					
	佳　作	４年　武宮　　慧			
	入　選	１年　浦里　望愛	３年　西尾　　渉	６年　川口　　倫	
【　絵手紙の部　】	最優秀	６年　川口　　倫	（　※　冊子の表紙を飾っています。　）		
【　フォトー句　】	入　選	５年　伊藤　優哉			



☆☆☆